



持ち帰り タンブラー貸します

市、プラ削減へ実験 3日以内に返却条件

プラスチックの削減を目指し、市環境局は飲食店でのテイクアウト時にステンレス製のリユース容器を使用する取り組みを始めた。愛知学院大名城公園キャンパス内にある飲食店「猿c a f e」＝北区＝で来年1月末まで実証実験が行われている。

市は5月、プラスチック削減のアイデアを事業者から募り、N I S S H A（京都市）のテイクアウト容器シェアリングサービス「Re & Go（リーアンドゴー）」をモデル事業として選定した。

市と包括連携協定を結ぶ愛知学院大が取り組みに協力。猿c a f eでは、ドリンクのテイクアウト時にプラスチック容器か、ステンレス製のタンブラーを選ぶことができる。タンブ

ドリンクのテイクアウトで選べるステンレス製タンブラー＝北区で

北区・愛知学院大内の「猿c a f e」で

ラーは3日間借りることができ、店舗か店外の返却ボックスに返す仕組み。利用は無料でQRコードからの登録が必要。学生以外に一般の人も利用できる。

市の担当者は「断熱性が高いので、図書館などで勉強する際に利用してもらえればいいのでは」と話す。同大の職員は「ゴミを出さないライフスタイルを考えるきっかけになってほしい」と期待している。市は今後、実施店舗を増やしていく。

（山野舞子）